

2010年度 第3回愛川町テニス協会理事会 議事録

日時・場所	‘10/11/20 18:00~20:00 中津公民館(レディースプラザ)第1会議室
	出席者: 綱島副会長、鈴木理事長、坂井副理事長、森(和)、宮永、大工、館山、市川、 矢後、森(雅)、大野、小川、 欠席者: 鳥羽会長、鈴木(弘)、大野、勝原、石井、鈴木(文)
	記録: 渡邊(千)

1. 実施済み大会報告

第51回秋季大会 キャメル: 綱島

大会結果報告書に基づき説明

『意見、要望、引継ぎ事項』

- ・試合中に生理現象が起きた。
→相手に一言声を掛けて、トイレに行った。
ルールブック上、取り決めが出来ているので、
ルールブックを参照する事。(添付抜粋資料参照)
- ・サービス中に異常に動いて気が散る。
→その後、幹事が注意した。
こちらもルールブック上、取り決めが出来ているので、
ルールブックを参照する事。(添付抜粋資料参照)

第68回事業所対抗戦 フルハウス: 宮永

大会結果報告書に基づき説明

『意見、要望、引継ぎ事項』

- ・2日目に愛川高校利用時、受付の方が初めての方で、鍵の場所が分からず、
準備が遅れてしまい、開始時間が遅くなってしまった。
→今回初めての事案なので、今後の様子を見て検討する。
- ・1日目に愛川高校がコケだらけで、清掃してから試合を開始した。
今後利用させてもらうか検討もしくはデッキブラシ購入希望。
→今回初めての事案なので、今後の様子を見て検討する。

2. 夏期テニススクール

夏期テニススクール報告書に基づき報告 指導普及・ジュニア委員: 石井(代理: 宮永)

『意見、要望、引継ぎ事項』

- ・ニューボールが1箱余っている。
→ボールの種類を確認し、次回大会にて使用出来れば使用する。
出来ないようでしたら、来年スクールにて使用する。(担当: 鈴木理事長)確認済
- ・テニス教室で使用したボールを希望者へ売却予定。
→希望者にボールの現状を確認し、その状態を見て3役及び会計にて
金額を決定する。(担当: 鈴木理事長)確認済
- ・ボールキャスターが非常に劣化が激しく、倉庫から運ぶのも困難。
→見積もりを取り、総会にて承認を得て購入予定。(担当: 書記局渡邊)
- ・今年はジュニアが小学3年生以上だったが、来年は小学1年以上にして欲しいとの要望。
→今年は昨年に比べ、学年を上げた事により運営がスムーズに行えた為、来年も
今年同様小学3年生以上とする。
- ・スクールの回数(6回)は多いのではないかと団体の負担が大きい。
→予備日を無くし、6回にて設定。

3. 大会雨天時天候判断について

雨天試合開催判断について要望…………… ニチベイクラブ：小川

- ・町総体時、朝雨が降っていたので、AM8:30に田代にて中止の判断が出たが、別会場の愛川高校についての天候判断が曖昧だった。
- 結局中止となったが、確認が取れていない参加者がいた為、時間に来てしまったチームがいた。
- 天候判断の際は、時間と集合場所を明確にする事を徹底する。
- 又、判断が明確では無い場合は、各団体代表者からも指摘をし、そのままにしないよう、気をつける。

4. 総会前事前打合せ

総会作成資料について…………… 書記局：渡邊

- ・大会スケジュール内容確認
- ・活動予定内容確認
- ・役員名簿内容確認
- 雑草魂来期脱退に伴い、下記のように決定。
- 理事：枠を削除
- 監査：キャメル：綱島洋子
- 指導普及・ジュニア委員会会長
- 愛川クラブ：藤野義人

5. その他

スポレクとやま2010について…………… 鈴木理事長

結果報告書に基づき説明

- ・協会負担金について
- 平塚市：3／伊勢原市：2／愛川町：1の割合で負担。

立科交流事業について…………… 綱島副会長

ソフト協会立科交流事業の状況内容に基づき説明

- ・硬式愛川町テニス協会でも交流事業を行うかの検討。
- 様子を見て改めて検討。

試合終了後のコートキャンセルについて…………… 書記局：森

- ・試合終了以降に抑えているコートが、キャンセルされていなかった為、第一公園事務所から苦情のTELが入った。
- 試合開催時のチェックシートを作成する。(担当：書記局渡邊)

公認指導員のポイント申請について…………… 鈴木理事長

- ・公認指導員のポイント申請に伴い、協会にてメンバーの把握をしたい。
- 各団体へメールにて確認。(担当：鈴木理事長)

以上

1. 試合中に生理現象が起きたら

今回試合中に突然相手がおなかの調子が悪いからトレットを取りますと言ってコートを離れた

テニスルールブック 2010 の JTA 公式トナメ競技規則 (P.69) の 22. トレットブレイクと着替え

トレットブレイクは男女ともにセットブレイク時に取る事が出来る。ただし、状態が深刻であるとアンパイアが判断した時は、当該選手のサービスゲームの前にトレットブレイクを緊急処置として認める。

8ゲームセットまたは1セットマッチのトレットブレイクは、緊急時に限り、シングルス1人1回。ダブルスはペアで1回。

時間は男女とも理にかなった時間内とする。

問題になったのは、エンドチェンジ時に相手選手に告げただけでコートを離れてしまった。また、次のサーブは相手選手。セブジャッジの場合は、試合中、トイレ、着替え、ヒールなど、コートを離れる時は、ワエリまたはロベングアンパイアに速やかに申し出る。

愛川の試合にはコートレフェリーが常時いない為、幹事団体の方に申し出て対処してもらおう。

2. サービスの時、相手チームの前衛者が異常に左右に動いて気が散る

テニスルールブック 2010 の、試合で起こる Q&A (P.41) に (Q17) サービスをする時に、レシーバーのパートナーが、必要以上に動く場合

レシーバーのパートナーが、ネットの中央あたりで、サービスが打たれる前に、必要以上にフラットや、体、足を動かす行為に対し、チェアアンパイアが「妨害」と判断した場合、コートバリエーション「スポーツマンシップに反する行為」を科される。こうした行為が、インプレー中に明らかに故意として行なわれた場合には、妨害と判断され失点する。

セブジャッジの場合、相手選手の言動やコール、フットフォール等に疑問、不服があった時は、ワエリまたはロベングアンパイアに速やかに申し出る。

愛川の試合にはコートレフェリーが常時いない為、幹事団体の方に伝え相手選手に注意を促す(フットウォーキング)と、良いと思います。